2026年9月3日の記事

【活動日誌333】長次郎の頭蓋骨の3Dデータを作成します

6月21日に開催したイベント「長次郎、また会う日まで!」の終了をもって長次郎の骨格標本は当館の非公開エリアに移動しました。現在は長次郎の骨格標本を一般公開していないものの、長次郎に関連した取り組みは続いています。先日は長次郎の頭蓋骨の3Dデータの作成にむけた作業を行いました。

骨格標本の3Dデータを作成する方法はいくつかありますが、対象となる標本を様々な角度から撮影し、得られた画像を合成することで3Dデータを作成する技術をフォトグラメトリ（Photogrammetry）と言います。今回の作業では一般社団法人路上博物館にご協力いただき、館内の作業室にて長次郎の頭蓋骨を撮影していただきました。

今後は、第169回日本獣医学会学術集会の開催にあわせた特別企画の一環で3Dデータを初公開するのを皮切りに、3Dデータの活用を進めていく予定です。今後の当館の活動にご期待ください。

（学芸員 石井）

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #長次郎 #キリン

■【お知らせ】第169回日本獣医学会学術集会の開催にあわせた特別企画について
https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20260821-01.html/
第169回日本獣医学会学術集会の開催にあわせた特別企画の詳細はこちら





① セッティングの様子
② カメラのシャッターと連動して動く回転台に長次郎の頭蓋骨を乗せ、様々な角度から撮影を行いました

2026年9月9日の記事

【活動日誌334】
第169回日本獣医学会学術集会にあわせた特別企画を開催しています

9月8日(火)から11日(金)にかけて、本学を会場に第169回日本獣医学会学術集会が開催されています。当館では、学会にあわせて特別企画を開催しています。

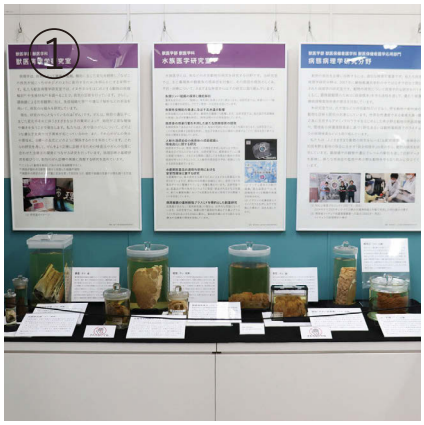
目玉企画の一つは長次郎の頭蓋骨の3Dデータの初公開です。学会会場にて博物館の出張展示を行い、長次郎の来歴を紹介するとともに完成したての頭蓋骨の3Dデータを公開しています。もう一つの目玉は新たなミニ展示「日獣大病理の部屋」の公開です。こちらでは本学で行われている「病理学」に関連した研究を紹介しています。

長次郎の頭蓋骨の3Dデータの公開は学会に参加された方のみが対象となっていますが、ミニ展示は学会期間中もどなたでもご見学いただけます。学会期間中は博物館内では学生による展示解説も実施しておりますので、興味のある方はぜひご来館ください。

（学芸員 石井）

#日本獣医生命科学大学 #日獣 #博物館 #日本獣医学会 #獣医学会 #キリン #病理

■【お知らせ】第169回日本獣医学会学術集会の開催にあわせた特別企画について
https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20260821-01.html/
学会期間中の特別企画の詳細はこちら





① ミニ展示「日獣大病理の部屋」の展示の様子。古い病理組織の液浸標本を展示しています。
② 出張展示会場の準備の様子。

2026年9月12日の記事

【活動日誌335】
第169回日本獣医学会学術集会にあわせた特別企画、無事終了

9月8日（火）から11日（金）にかけて開催されていた第169回日本獣医学会学術集会にあわせた特別企画は昨日無事終了しました。

学術集会に先駆けて市民公開講座が開催された9月7日から、博物館は学術集会の会場の出張展示と特別解説、また博物館と出張展示会場での学生による展示解説を行いました。初日の7日は都内でも豪雨による警報の発令や交通機関の乱れなどもあり、学生による展示解説はとりやめましたが、5日間で合計281人の方に博物館および出張展示を見学いただくことが出来ました。

期間中は学術集会の参加者の方が数多く見学に来てくださり、オープンキャンパスや通常の団体見学とは異なる視点での質問が多く、解説した学生スタッフたちも多くの学びがあったようです。

出張展示で初公開したキリン「長次郎」の頭蓋骨の3Dデータは、学会会場での限定展示となっていたため今後はしばらくご覧いただくことはできませんが、学術集会に合わせて公開した新たなミニ展示「日獣大病理の部屋」来年度まで展示を継続する予定となっています。

ミニ展示「日獣大病理の部屋」の展示準備のため閉鎖していた一号棟展示室の閉鎖も終了し、一号棟について紹介している常設展示もご覧いただけるようになりましたので、みなさま、またぜひご来館ください。

（学芸員 廣瀬）

#日本獣医生命科学大学 #日獣 #博物館 #キリン #病理学 #病理







① 特別解説の様子

② 期間中は学術集会の大きな看板が一号棟の入口に設置されました

③ 公開した3Dデータ

2026年9月17日の記事

【活動日誌336】ミニ展示「日獣大病理の部屋」開催中

9月8日から11日にかけて、本学を会場に第169回日本獣医学会学術集会が開催されました。当館では学術集会にあわせた特別企画の一つとして、新たなミニ展示「日獣大病理の部屋」の公開を開始いたしました。

「病理学」は病気の原因とメカニズムを明らかにすることを目的とした学問です。当館は、これまでにも本学で病理学に関連した研究を行う研究室と連携し、特別展の実施や学術標本の収集などの活動を精力的に進めてきました。今回のミニ展示では、獣医学科の獣医病理学研究室・水族医学研究室と、獣医保健看護学科の病態病理学研究分野にご協力いただき、それぞれの研究室の研究内容を紹介するほか、研究室からお預かりした様々な資料を展示しています。

学術集会は終了しましたが、ミニ展示は来年の5月まで公開を続ける予定となっています。ご来館の際はぜひミニ展示もチェックしてください。

（学芸員 石井）

#日本獣医生命科学大学 #日獣 #博物館 #病理学 #病理

■【お知らせ】ミニ展示「日獣大病理の部屋」開催中
https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20260910-01.html/
展示の詳細情報はこちらをご参照ください





① ミニ展示の導入部分の様子。「病理学とは何か?」をわかりやすく解説するとともに、実際に研究で用いられている標本を顕微鏡で観察することができます。

② 研究室の紹介とともに貴重な液浸標本10点を展示しています。

※展示標本の詳細はこちら(PDF)
https://www.nvlu.ac.jp/wp-content/uploads/2026/09/universityinstitution_news_20260910-01.pdf

2026年9月19日の記事

【活動日誌337】都内の農業系高等学校の皆様が来館されました

先日、2026年度日本獣医生命科学大学高大連携プログラムの一環として、東京都内の農業系高等学校との合同研修会が開催されました。その中で行われた本学の見学ツアーの一環として、高校の先生方に当館をご見学いただきました。

見学ツアーでは、E棟の食品科学科および動物科学科のフロアをご見学いただいたのち、キャリアセンターの見学を経て、博物館にご来館いただきました。15分ほどの短い時間でしたが、国の登録有形文化財(建造物)でもある建物の特徴や博物館の歴史を紹介し、最後に自然系展示室をご見学いただきました。見学中、ツアーに参加された先生方からは積極的にご質問をいただきました。また、高校生のみなさんの活動の参考にしたいと、配布している展示資料などを手に取ってくださる方も多くいらっしゃいました。

今回の見学ツアーでは、参加者の皆さんにはわずかな時間でのご見学となりました。当館は開館日には予約なしで自由にご覧いただけますので、今回のような短時間のツアーでゆっくりと見学できなかった皆様には、ぜひ改めてご見学いただきたいと思います。

（学芸員 石井）

＃日本獣医生命科学大学 ＃日獣 ＃博物館 ＃団体見学 ＃高大連携

■2026年度日本獣医生命科学大学高大連携プログラム
https://www.nvlu.ac.jp/universityguidance/008-5.html/
高大連携プログラムの詳細についてはこちらをご覧ください





① 一号棟の特徴や博物館の概要について説明する様子
② 自然系展示室の見学の様子

2026年9月26日の記事

【活動日誌338】東京農工大学の皆様がご来館されました

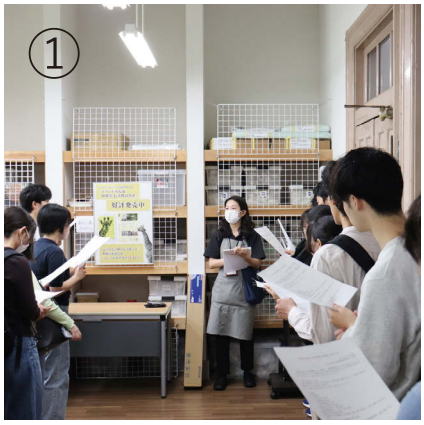
当館では、学芸員による解説つきの団体見学を受け入れています。先日は、東京農工大学で学芸員課程を履修している23名の学生さんと引率の先生が見学にお越しくださいました。

事前に「博物館資料論の一環で当館の収蔵室を見学したい」とご相談いただいていたことから、全体を3グループに分け、特別に収蔵庫もご見学いただきました。当館は一号棟と呼ばれる木造校舎を活動拠点としています。一号棟は国の登録有形文化財（建造物）にもなっている歴史的価値のある建物ですが、窓や扉に隙間があり、温湿度を安定させることが難しいなど、一般的な博物館の収蔵庫とは状況が異なります。学生の皆さんには、当館の状況をご説明したうえで、資料の管理上行っている工夫などを紹介しました。

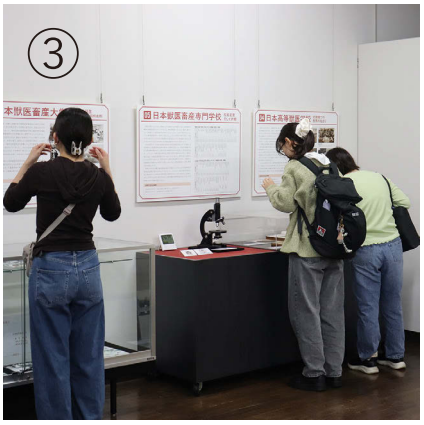
通常、解説付きの団体見学では15名を上限とし、収蔵庫は見学の対象としていませんが、教育目的などの場合には、事前にご相談いただくことでご見学いただける場合もございます。まずは見学希望日の3週間前までにお問い合わせくださいますようお願いいたします。

（学芸員 石井）

＃日本獣医生命科学大学 ＃日獣 ＃博物館 ＃団体見学 ＃学芸員







① 当館の収蔵方針について説明している様子

② 2階の保管室で調湿庫について説明している様子

③ 自由見学の様子

2026年9月30日の記事

【活動日誌339】友の会サミット2026に参加しました

友の会サミット2026（主催：友の会サミット2026実行委員会）が、9月26日・27日の両日、神奈川県立生命の星・地球博物館にて開催されました。

このイベントは、「全国各地の博物館の友の会やボランティア、関連団体が一堂に会し、活動内容や課題を共有し、博物館友の会の活動の継承や拡大について考えるイベント」とされています（イベントチラシ開催趣旨より）。

当館には現在友の会はありませんが、野生生物研究会のサークルのメンバーや学芸員課程履修生を中心に、学生有志のみなさんにオープンキャンパスなどの大きなイベントや、標本の整理作業などを手伝っていただいており、今回は今後の情報収集を主な目的として参加してきました。

主催者によるとのべ180名の方が参加されたそうです。当館スタッフは、初日は参加団体事例紹介リレートークの中で当館の現状を紹介し、2日目は他大学で活動する学生団体に関する情報の収集を行いました。限られた時間でしたが、全国から集まられた博物館関係者の皆さんと情報交換をすることができ、今後、交流できた他団体との連携活動などへと発展できるように、この機会に得られたものを活かしていきたいと考えています。

（学芸員 石井・廣瀬）

#日本獣医生命科学大学 #日獣 #博物館 #友サミ2026

■友の会サミット2026

https://rojohaku.com/summit2026/

イベントの詳細についてはこちらをご覧ください







① 会場入り口の看板

② 初日の講演会場の様子

③ 資料配布コーナーに当館の資料も置かせてもらいました